

たくくらくあることだ」「夫が妻に暴力を振るうのは、そうさせる妻にも原因がある」などと言われるような社会的な意識が今でも見られます。これはまさにジェンダーから来る問題です。

「仮に非難されることをしたとしても、殴られる理由にはなりません」という言葉が印象的でした。

【エンパワメント】

人はだれでも自尊心を持って生きていく権利があります。しかし、DVを受けている人の多くは、「あなたは大きな人間じゃない」というメッセージを受けています。このようなメッセージをなくし、一人一人が持つ内なる力を回復させることがエンパワメントです。

DVをなくすために

講演では、「離婚しようと思っても、女性が経済的

に差別されている今の社会では離婚後の経済不安のため、配偶者に暴力を振るわれる生活を続けざるを得ません。「DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)」の成立で、多くの女性は身体的危険からは救われましたが、経済的自立は困難なままです」と言っていました。

日本の女性の平均賃金は、男性の約6割です。また、国会議員の女性比率は、衆議院で155か国中121位。このように、経済的な問題や、物事を決める場に女性の数が少ないという現状は、日本に根強く残るDVとも無関係ではありません。

DVの根絶は、制度や経済などあらゆる分野で真の男女平等を目指していく中でこそ実現していくのだというのを再確認しました。



男女共同参画モデル校 本島中学校



男女共同参画 in 潮風祭

全校生徒10名の本島中学校で、昨年11月15日に開催された「潮風祭」に招待されました。男女共同参画モデル校として取り組んだ成果を、大勢の地域のみなさんと楽しみました。

2年生は、総合的学習「職業と生き方」で、男女共同参画の視点から職業の選択について調べたことを発表しました。「私たちは、いろいろな分野で性別を問わずに、一人一人が自分の夢や生き方に向かって努力できる社会を実現させたい」と、力強く希望を語りました。

プログラムの目玉は、人権劇「私たちのめざす男女共同参画社会」でした。街頭で、家庭で、会社で、学校でと、4つの場面で男女平等について考える内容です。暗転に聞こえるナレーターの語りはずばらしかったです。「男女共同参画」は、人として大切にされ、自立し、支えるうえで大切な言葉。「一人が変わるだけじゃなく、社会全体が変わるべき」「何も行動しなければ、いつまでも当たり前かもしれない」「ご来場のみなさまと一緒に考えようではありませんか」。どの言葉も心に染み入りました。

学年発表でも人権劇でも、「自分を大切に、仲間を増やし、お互いを大切にする生き方をしたい」と結んだのです。

未来の丸亀を担う子どもたちが男女共同参画の教育の下に育つ姿を見て、晴れ晴れとした気持ちで帰途につきました。

平成15年度第2回ゆめネットワークセミナー 報告から広がる意見交換

1月31日に、17人の参加者の下、ゆめネットワークセミナーが開催されました。今回の内容は、全国規模の大会や勉強会に参加したゆめネットワークのメンバーから報告を受け、その後、意見交換を行うというものでした。

「日本女性会議2003おおつ」に参加した人からは、環境をテーマにした分科会などについて、内閣府主催の「ヤングリーダー会議」に参加した人からは、21世紀の男女共同参画施策や企業の女性登用などについて報告を受けました。さすがに全国規模の会議だけあり、充実した内容だったことが、報告者の熱い口調から伝わってきました。また、報告の中で「視野は世界的に、行動は足元から」と言っていた言葉が心に響きました。

今回のセミナーに参加して、私は目からウロコが落ち、ぱっと目が覚めました。これまで私の関心事は男女共同参画の分野外のような気持ちがあり、少し距離を置いて見ていました。しかし、意見交換を行ううちに、男女共同参画は、子育てにおいても、介護、職場、家庭などすべての生活の中で基礎になる部分だということが理解できたのです。それぞれが他人事だと思わず、重く受け止めていかなければならないと思います。



市役所をジェンダー・チェック

丸亀市における女性の登用状況

ゆめネットワークのグループが、昨年6月から8月にかけて、丸亀市における審議会・委員会等の女性委員比率と、女性管理職の登用率について調査しました。現状を数値で把握すると男女差は明らかで、改めて「なぜだろう」と、疑問が膨らみます。

そこで、要因や対応策などについて、担当の管理職と話し合いました。さらに、丸亀市と人口規模などが似ている類似団体および男女共同参画宣言都市との比較資料を作成し、相対的にも捉えました。

目に見える遅れ

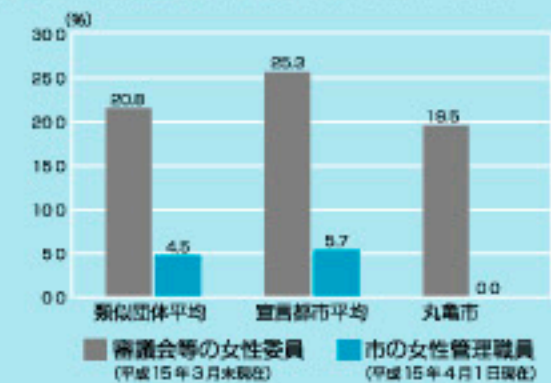
初めて把握した丸亀市の現状は、審議会等への女性委員登用も、女性職員の管理職登用も遅れています。グラフに表示すると、その遅れが際立って見えます。女性委員：審議会等の女性委員比率はかなり上がってきましたが、丸亀市の目標値30%をクリアできませんでした。他市と比べても比率は低いのです。特別報酬等審議会のように男女同数、女性委員比率50%の審議会もありますが、都市計画審議会など9つ、3分の1の審議会等では女性委員数は0です。女性管理職：丸亀市には部長・課長級つまり管理職の女性はいません。過去には女性課長がいなかったわけではありませんが、残念なことに現在は、女性職員の管理職登用率は0%です。登用する個、される個、どちらにも問題が潜んでいると思われます。

市民が見つめて考えよう

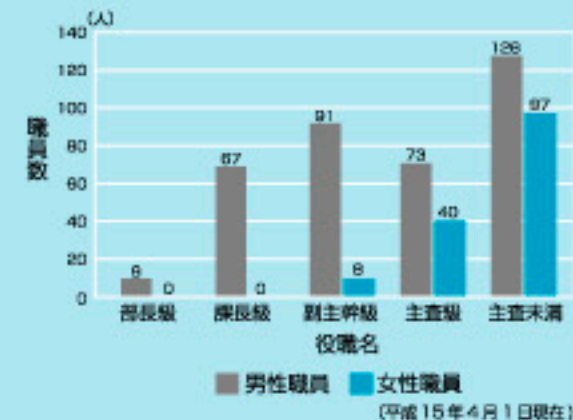
市では、今回ゆめネットワークが提案するまで実態調査も行われず、対応策もやっと始まったばかりのようです。市役所が男女共同参画にならなければ、丸亀市の男女共同参画施策も進むはずがありません。

今後もゆめネットワークでは、女性の登用だけでなく、様々な視点から丸亀市の男女共同参画の進捗度を調査していく予定です。市民の意識調査と並行して、今回のような現状調査を行うことで、市の取り組み姿勢や施策の効果も明らかになることでしょう。そして、調査の過程や結果を通して、市民の目線から、男女共同参画施策への提案を続けたいと思っています。

●丸亀市の女性登用の状況 (審議会等委員、市職員)



●丸亀市の役職別一般行政職員数 (保育士、教諭、技能労働者、消防士等を除く)



ゆめの部屋

活動中

1/10

●まちづくりグループまるみな
フリートーク
「読書の楽しみー私のオススメ本ー」

2/18

●ウイングL
グローバルセミナー
「国際交流で世界を学ぼう」

ゆめネットワークに新メンバー

「NPO法人 地域は家族・コミュニケーション」
をよろしく

子育てを通じて、親は生き生きと成長し、子どもたちはいろいろな人の中で育ち、地域の人は次世代の親子とふれあい元気になる、そんな活動を創っています。